

令和4年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市大砂土障害者デイサービスセンター
(2)施設概要	<p>①所在地 北区本郷町17-7</p> <p>②施設の設置目的 障害者がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスの提供及びその他の支援を行い、障害者の福祉の増進を図る。</p> <p>③施設の概要 敷地面積 1,007.67㎡ 延床面積 1,567.58㎡ 構造 鉄筋コンクリート造 3階建 事業内容 生活介護事業（定員14人）平成18年10月指定 自立訓練（機能訓練）事業（定員6人）平成18年10月指定 相談支援事業（特定相談支援・障害児相談支援）平成27年4月指定</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人 さいたま市社会福祉事業団
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料（直近3か年） 令和2年度56,032千円、令和3年度56,032千円、令和4年度56,032千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況（利用状況含む）</p> <p>◇利用状況</p> <p>&lt;生活介護事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数 2,770人（前年度3,010人）</li> <li>・稼働率 83.1%（前年度88.8%）</li> </ul> <p>&lt;自立訓練（機能訓練）事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数 979人（前年度760人）</li> <li>・稼働率 68.6%（前年度52.3%）</li> </ul> <p>&lt;相談支援事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約者数 74人（前年度63人）</li> </ul> <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開所日数 238日</li> <li>・防災訓練（大砂土ふれあいの里として）</li> <li>・健康相談</li> </ul> <p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口受付管理業務 ・清掃等管理業務（日常清掃、定期清掃、衛生管理）</li> <li>・機械警備業務 ・一般廃棄物収集運搬処理業務 ・消防設備保守点検業務</li> <li>・自家用電気工作物保守点検 ・エレベーター設備保守管理</li> <li>・空調設備保守点検業務 ・公共建築物定期点検業務</li> </ul>
(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用料金収入 42,697千円（前年度40,554千円）</li> <li>・指定管理料 56,032千円（前年度56,032千円）</li> <li>・その他 8,815千円（前年度4,151千円）</li> </ul> <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費 70,258千円（前年度64,004千円）</li> <li>・事務費 2,240千円（前年度1,944千円）</li> <li>・施設管理費 8,546千円（前年度24,626千円）</li> <li>・事業費 3,622千円（前年度1,817千円）</li> <li>・繰入金支出 10,027千円（前年度5,163千円）</li> <li>・その他 3,284千円（前年度3,183千円）</li> </ul>

(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	法人全体の対応として、さいたま市社会福祉事業団「みなさまの声」の設置要項による投書箱の設置、サービス向上担当者会議による福祉サービス利用者アンケートの実施等、利用者からの意見・要望を受ける機会を設けた。 施設では、相談しやすい雰囲気作りや話しかけやすい表情を心がけながら、利用される方々とコミュニケーションを図り、何気ないご意見やご要望を聴取し、職員間で共有し、検討した。感染症拡大や中規模修繕による仮施設への移転等で、様々な制約にご理解をいただきつつ、ご要望の多い入浴サービスを継続したことで喜んでいただいた。
(8)その他	特になし

## 2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
生活介護事業では、利用者が豊かな日常生活又は、社会生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事等生活全般の支援を行い、創作活動及び外出の機会の提供を行う。	豊かな日常生活又は、社会生活を営むことができるよう、定期的にモニタリングを行い利用者のニーズに基づいた個別支援計画を作成した。利用者個々の健康状態や身体機能に合わせた入浴、排泄、食事を提供し、必要に応じた支援、介助を行った。 理学療法士の助言をもとに身体的リハビリテーションを始め、創作活動や季節行事、ボランティアコンサート等、幅広い内容を提示し、楽しんでいただけるよう支援した。
自立訓練事業では、利用者が自立した日常生活又は、社会生活を営むことができるよう、一定期間、身体機能又は生活能力の維持、向上などのために必要な訓練を行う。	利用者の意向と身体状況に合わせた個別支援計画を作成し、理学療法士を中心に身体機能及び生活能力の維持、向上のために必要な訓練を行った。また、外出訓練など社会生活の環境に応じた訓練を実施することで経験を積みながら身体機能の向上を図った。 職員は積極的に利用者とのコミュニケーションを図り、訓練に取り組みやすい雰囲気作りと健康上の相談や福祉用具の相談等日々不安なく過ごせるよう、相談の場を提供した。
相談支援事業では、障害者等からの相談に応じ、必要な便宜を供与するとともに、地域の中で自立した日常生活又は、社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービスの利用に際してサービス等利用計画を作成する。また、障害児の心身の状況や環境等に応じて保護者のニーズに基づき、総合的かつ効果的にサービスが提供されるよう障害児支援利用計画を作成する。	アセスメントに基づき、障害児・者等のニーズを把握し、日常生活及び社会生活を営むことができるよう、必要なサービスの利用を盛り込んだサービス等利用計画を作成した。 定期的にモニタリングを実施し、計画の進捗状況を確認し、計画の変更や福祉サービス等の調整を行った。利用者がよりよい生活を送ることができるよう、区役所支援課や障害者生活支援センター、福祉サービス事業所等と連携した地域の相談が必要な障害児・者等に対して、相談支援を提供することができた。

## 3 評価

(1)指定管理者による評価

<p>生活介護事業では、外出活動として大宮公園散策やヤオコーに買い物に出かけた。季節行事として行った書き初めを作品展に出品し、発表の場を提供することで喜んでいただけた。外食活動は、感染症対策のためテイクアウトに変更して実施した。地域交流の機会として、ボランティアコンサートを開催した。</p> <p>自立訓練(機能訓練)事業では、契約終了者7名、新規利用者5名で契約者数としては増えていないが、利用率があがったことで、稼働率も目標としていた65%を上回り、68.6%となった。</p> <p>大砂土ふれあいの里として、放課後児童クラブ主催のクリスマス会や社会福祉協議会主催の体操教室への参加は、見合わせた。合同の防災訓練は実施し、緊急時の対応について各事業間で確認をした。</p> <p>安全管理については、感染症対策として館内の清掃、消毒を行った。また、利用者受け入れ前後に、施設設備の点検を行い、事故防止に努めた。</p> <p>中規模修繕工事に伴う仮施設への移転を含みながらの事業運営だったが、要望の多い入浴を継続し、自宅から徒歩で通所していた方については、距離が遠くなったことによるリスク回避のために、送迎対応することで、概ね理解を得ることができた。仮施設隣りの保育園の園児との交流もあり、多世代交流の機会となった。</p>
--

(2)さいたま市の評価(評価担当課:福祉局障害福祉部障害政策課)

総合評価 (B) ※A~D

「大砂土ふれあいの里」の中規模修繕に伴い、令和4年7月~令和5年2月までの約7か月間、仮施設での運営となった。この期間中は多くの制約があったものの、利用者と積極的にコミュニケーションを図りながら、生活介護事業や身体機能及び生活能力の維持、向上のための訓練等サービスを実施した。

主な活動として、書き初めの作品展への出品や、地域交流の一環としてボランティアコンサートを開催した。また、大砂土ふれあいの里の管理者として、施設合同の防災訓練の実施するなど、施設の管理も適切に行った。

以上のことを踏まえ、総合評価を「B」とした。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

来年度以降も適正な管理運営を継続するよう指導していく。